

検索置換ソフト「一発ちかん 2016」について

2016 年 7 月 「一発ちかん 2016」作者 桑野和行 作成

目次

はじめに.....	4
本ソフトの概要・特長	4
動作環境.....	5
現時点でわかっている課題	5
インストールの方法	5
1. Excel のマクロ設定	5
2. 本ソフトのインストール	6
3. 確認.....	7
アンインストールの方法.....	7
1. 本ソフトのアンインストール	7
2. Excel の設定.....	8
3. 確認.....	8
本ソフトの使用法	9
Excel の辞書の作り方	9
正規表現.....	10
Word について.....	10
読み取り専用文書.....	10
検索置換対象の文書数について.....	10
本ソフトの実行.....	11

簡単設定の内容	11
簡単設定での実行.....	11
詳細設定での実行.....	12
トラブルシューティング	13
ご質問・ご要望.....	13
著作権・再配布	13
責任の放棄	13
ユーザ登録のお願い	14

本文書中のソフトのスクリーンショットは、開発中のもののため実際のものとは異なる場合がございます。

はじめに

この度は検索置換ソフト「一発ちかん」（以降、本ソフト）をダウンロードしていただき、ありがとうございます。このマニュアルをご覧いただき、是非、本ソフトをご活用くださいませ。

本ソフトの概要・特長

Microsoft Excel2016（以降、Excel）のシート上にある語彙データ（検索すべき語句と置換後の語句を対にしたもの。以降、辞書）を参照して、Microsoft Word2016（以降、Word）で開いた複数文書ⁱ内の複数語句ⁱⁱを一括で検索置換するソフトです。表記している語句の揺らぎが許されない論文や契約書、さらに出版物の原稿整理などに非常に有用です。

辞書をごく普通の Excel のデータとして管理しますので、辞書自体の編集（追加、訂正、削除など）、複数人数での共有などが簡単にできます。つまり、辞書をどんどん鍛えていくことができます。また、アクティブになっているシート上の辞書のみを参照するため、「論文用」「企画書用」といったようにシートごとにつくりわけて、使いわけることが可能です。

Word で開くことができればどんな文書でも一括で検索置換できます。したがって、Word 文書のみならず、テキスト文書なども対象にできます。

改行やタブ、任意指定の改ページなど、Word で「特殊文字」として検索置換できるものは、本ソフトでも検索置換できます。ルビのついた語句や、テキストボックス中の語句も検索置換できます。

検索置換した語句を着色できますので、検索置換した箇所が一目でわかります。また、着色する色も選べます。

今回のバージョン 2016 では、正規表現での検索置換に対応しました。

ⁱ ワードを一定の方法（後述）で起動する必要があります。試用版では 2 つまでの制限があります。

ⁱⁱ 試用版では 5 つまでの制限があります。

動作環境

以下の環境で動作確認をしています。これら以外の環境については作者は関知しません。

アプリケーションソフト：Word2016、Excel2016

OS：Windows10

現時点でわかっている課題

- Word の複数文書対応
 - **alt キーを押しながら Word を起動し、Word から文書を開く必要があります。**
文書から開いた場合は対応していません。
- 特殊文字と正規表現の同時検索はできません。

インストールの方法

本ソフトは、Excel のアドインプログラムです。

マクロの設定を変更してください。

また、インストールには添付しているインストーラをお使いください。

1. Excel のマクロ設定

(ア) Excel を起動する

(イ) 設定を変更する

ファイル＞オプション＞セキュリティ センター＞セキュリティセンターの設定＞マクロの設定＞マクロの設定 で、「すべてのマクロを有効にする」を選択＞OK ボタン押下（セキュリティセンターが閉じる）＞OK ボタン押下（Excel のオプションが閉じる）

(ウ) Excel を終了する。

2. 本ソフトのインストール

(ア) Excel が起動していないことを確認する。

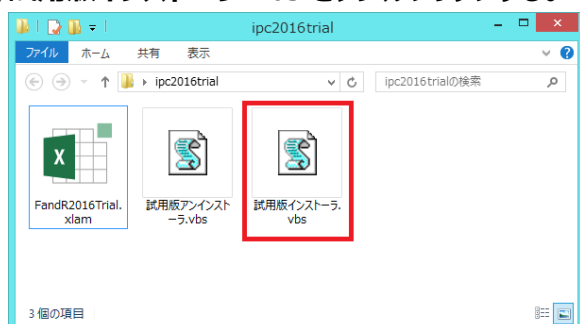
【注意】 Excel は必ず終了させておいてください。Excel が起動している状態ではインストールはできません。

(イ) ipc2016trial.zip を任意の位置に解凍する。

【注意】 右図のように「展開」が表示されている場合は、zip ファイルの内容が表示されているだけで、解凍されていません。

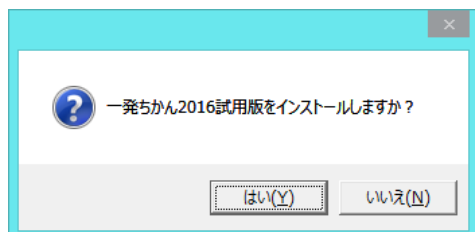


(ウ) 試用版インストーラ.vbs をダブルクリックする。

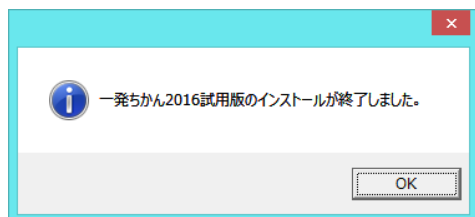


【注意】 「FandR2016Trial.xlam」と「試用版インストーラ.vbs」との相対位置を変えないでください。

(エ) 以下のダイアログが表示されるので「はい」を押下。



(オ) 以下のダイアログが表示されたらインストール終了です。



【注意】 「試用版インストーラ.vbs」が実行できない場合は、お使いのアンチウイルスソフトなどの設定による可能性があります。まずはアンチウイルスソフトやセキュリティ関連の設定をご確認ください。

3. 確認

Excel を起動して、以下のタブが追加されていたらインストールは成功です。



上記のタブが表示されていない場合は、すべての開いているブックを閉じ、Excel を再起動してください。

なお、上記の 1～3 の手順はインストール時のみ必要で、一度インストールされれば、以後は不要です。

アンインストールの方法

アンインストールには添付しているアンインストーラをお使いください。

1. 本ソフトのアンインストール

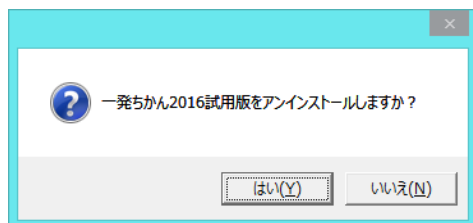
(ア) Excel を終了させる。

(イ) ipc2016trial.zip を任意の位置に解凍する。

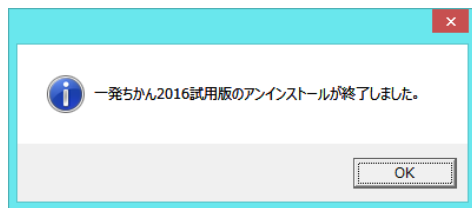
(ウ) 試用版アンインストーラ.vbs をダブルクリックする。



(エ) 以下のダイアログが表示されるので「はい」を押下。



(オ) 以下のダイアログが表示されたらアンインストール終了です。



2. Excel の設定

(ア) Excel を起動する

(イ) マクロの設定を変更する

ファイル＞オプション＞セキュリティ センター＞セキュリティセンターの設定＞マクロの設定＞マクロの設定 で、任意の項目を選択＞OK ボタン押下（セキュリティセンターが閉じる）＞OK ボタン押下（Excel のオプションが閉じる）

3. 確認

Excel を起動して、「ipcTrial」タブが削除されていたらアンインストールは成功です。

本ソフトの使用法

本ソフトは Word 側ではなく Excel 側で操作します。Excel のリボンには常に「ipcTrial」タブが表示されています。

Excel の辞書の作り方

下図を適宜参考にしてください。

セルに着色すると、検索置換の対象から除外されるので、見出しやタイトルを入れることができます。色は何色でも結構です

左の列に検索する語句、右の列に置換後の語句を入力してください

注意

試用版は検索置換できる語句数を 5 つまでに制限しています。

	A	B	C	D	E
1	検索	置換		コンピューター	□■◇
2	今日	きょう		コンピュータ	コンピューター
3	本日	きょう		□■◇	コンピューター
4	今年	ことし			
5	本年	ことし			
6	ぼく	私			
7	おれ	私			
8	自分	私			
9	わし	私			
10	あたし	私			
11	わたし	私			
12					
13					

列を改める場合、必ず 1 列あけてください。あけないのも、2 列以上あけるのも不可です。ただしこの 1 列には、備考（検索する語句や置換する語句ではないもの）を入力することはできます。サンプルファイルをご覧ください。

好きなところで列を改めることができます

検索置換は Excel のブック単位ではなく、シート単位で行われますので、用途ごとにシートをつくりわけておけば、シートを切り替えるだけで用途に応じた検索置換を行うことができます。

また、適宜、検索置換すべき語句の追加、訂正、削除などができます。

Tips その 1…Word の検索置換では、検索置換する際、「特殊文字」を使うことができます。たとえば、「^p」は段落記号（いわゆる改行マーク）を表し、「^t」はタブ記号を表します。「^p^p」と入れておけば、二つ連続する段落記号を表します。本ソフトは、これらの特殊文字も、辞書に入れておけば通常の語句と同様に検索置換の対象にできます。つまり、Word 文書中の段落記号やタブ記号も検索置換の対象にできます。特殊記号は Excel のサンプルファイルの 2 枚目のシートに記しています。

Tips その 2…「コンピューター」と「コンピュータ」が混在していて、これらを「コンピューター」に統一するような場合、単に「コンピュータ」を「コンピューター」に置換すると、「コンピューター」は「コンピューターー」になってしまいます。つまり、置換後の語句が検索対象の語句を含んでいる場合、置換する必要のない語句の一部までもが置換されてしまいます。これは以下のようにすれば避けられます。

- ① 前ページ図のセル D1 と E1 のように、置換する必要のない語句を一度全く意味をなさない文字列に置き換える
- ② 同じく D2 と E2 のように、通常の検索置換を行う
- ③ 同じく D3 と E3 のように、全く意味をなさない文字列を置換する必要のない語句に戻す

正規表現

今回のバージョン 2016 では、正規表現での検索置換に対応しています。

正規表現については、以下のサイトをご参照ください。

<https://support.office.com/ja-jp/article/-eeaa03b0-e9f3-4921-b1e8-85b0ad1c427f?ui=ja-JP&rs=ja-JP&ad=JP>

Word について

読み取り専用文書

読み取り専用の Word 文書の検索置換はできません。

検索置換対象の文書数について

alt キーを押下しながら Word を起動し、Word から Word 文書を開いた場合に限り、その時点で開いている Word 文書すべてⁱⁱⁱを検索置換の対象とします。

検索置換する必要のない Word 文書は閉じておく必要があります。

ⁱⁱⁱ試用版ではワード文書は 2 つのみ検索置換の対象とします。

本ソフトの実行

細かな設定をしなくよい「簡単設定」と、検索置換対象や置換後の文字色をユーザご自身で設定できる「詳細設定」を選べます。

簡単設定の内容

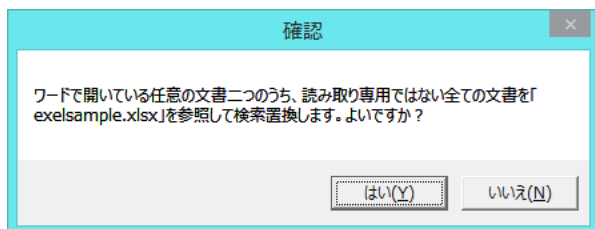
- アルファベットとカタカナの全角半角は区別します。
- アルファベットの大文字小文字は区別します。
- 置換後の文字は赤色で表示されます。
- 特殊文字の検索置換は行います。
- 正規表現は無効です。

簡単設定での実行

1. ipcTrial タブの「簡」を押下してください。

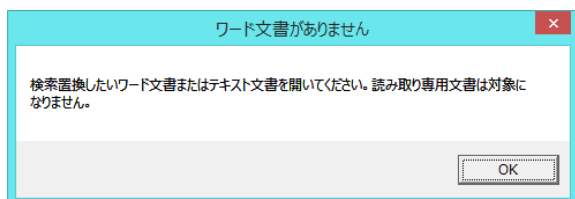


2. 下記のような確認のウィンドウが現れますので、適宜「はい」もしくは「いいえ」を押下してください。

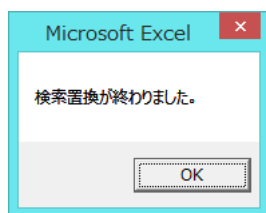


「はい」を押すと、検索置換を開始します。

このとき、Word が起動していないと、警告が表示されます。



3. 正常に検索置換が終了すると、以下のダイアログが表示されます。

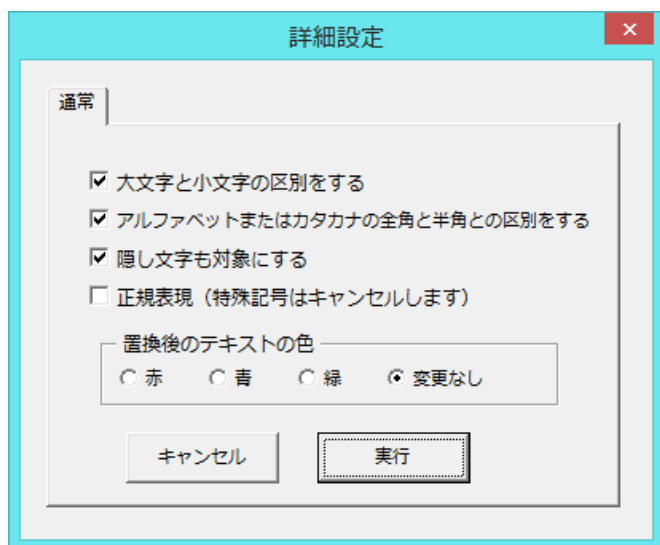


詳細設定での実行

1. ipcTrial タブの「詳」を押下してください。



2. 上記のダイアログが開きますので、適宜設定してください。



設定が終了したら「実行」を押下してください。

3. あとは「簡単設定での実行」の 2 と同様です。

トラブルシューティング

- Word から Word 文書を開かずに Word 文書から Word を開いた場合や、Word 文書を開いた直後に検索置換を開始した場合に、下記のダイアログが表示されることがあります。



このときは、「終了」を押下し、数秒たってから再度検索置換を行ってください。

- 操作途中で Word を終了させてしまった場合などに、下記のダイアログが表示されることがあります。



このときは、「終了」を押下し、Word 文書は保存せずに閉じ、再度開いて検索置換を実行してください。

ご質問・ご要望

本ソフトの使用方法に関する質問や要望などは、本マニュアル末尾「ユーザ登録のお願い」に記してあるメールアドレスまでお寄せください。なお、お返事に少々お時間をいただく場合がございますのでご了承ください。

著作権・再配布

本ソフトのソースコードは作者が作成したものであり、著作権は作者が有します。

本ソフトの再配布は、試用版に限ってのみ認めます。また、再配布する場合は、事前に当方までメールにてご連絡ください。

責任の放棄

本ソフトを使用した結果、使用者にいかなる不都合が生じて、作者はその責を負いません。

ユーザ登録のお願い

本ソフトは 2000 円のシェアウェアです。試用版を使用して気に入っていただけたら、ユーザ登録をお願いいたします。登録していただければ正式版をメールにてお送りいたします。正式版には、一度の検索置換で対象となる Word 文書の数と、検索置換できる語句の数のいずれにも制限がありません。

登録方法：

下記の口座に入金していただき、また、当方までメールにてその旨お知らせください。入金の確認ができ次第、正式版をメールにてお送りいたします。振り込み手数料はご負担ください。

三井住友銀行 多摩センター支店（店番号 909） 普通 口座番号 0712941

口座名義人 桑野和行（くわのかずゆき）

メールアドレス k_kuwano@mac.com